

サイクリングとロゲイニングの融合による村内周遊サイクリングコース開発

伊敷享耶 塩屋凱大 松本要 大道翔太 木村心優 橋本凜
植田絢慎 遠山聖也 川端悠太 (大阪国際大学経営経済学部経営学科スポーツビジネスコース) 指導教員：横山誠

背景と目的

大阪国際大学は2009年から交流が始まり、2013年に南山城村と包括連携協定を締結した。
2018年度から昨年度までの期間で、森林ウォーキングコースの開発や効果検証を行い今年度からウォーキングにとどまらない新しい試みとして、
「**サイクリングとロゲイニングの融合による村内周遊サイクリングコース開発**」に取り組んだ。

ロゲイニング…オーストラリア発祥のナビゲーションスポーツで、地図とコンパスを使い山や森、高原などの自然の中の多数のチェックポイントを制限時間内で多く回り得点を競う競技である。

取り組んだ課題

ウォーキングだけでは村内の限定された範囲であり、村の自然や文化などの魅力を十分に触れることができないためサイクリングで広範囲に活動できるコースづくりを行った。サイクリングだけではなく、事業化・ビジネス化に向けて茶畑の景観や自然を満喫できるポイントや食文化体験なども取り入れ、アウトドアツーリズムの可能性と地域活性化について検討を行った。



【南山城村の概要】
人口：2,440人(R6.1.31現在)
面積：64.11km²
平均年齢：58.4歳
課題：人口減少、過疎化、体験型アクティビティ不足



大河原駅周辺

https://minamiyamashiro-kyoto.jp/tourmap-

活動概要

コース・スポット着手



サイクリングコースのポイント検討

サイクリング試走



茶畑からダムに向けて試走

食文化体験



地元の特産品で食文化体験を実施

サイクリングイベント実施時の様子



茶畑の景観をバックに集合写真



ダム周辺を走るサイクリング参加者の様子



道の駅の宇治茶と抹茶どら焼きを提供

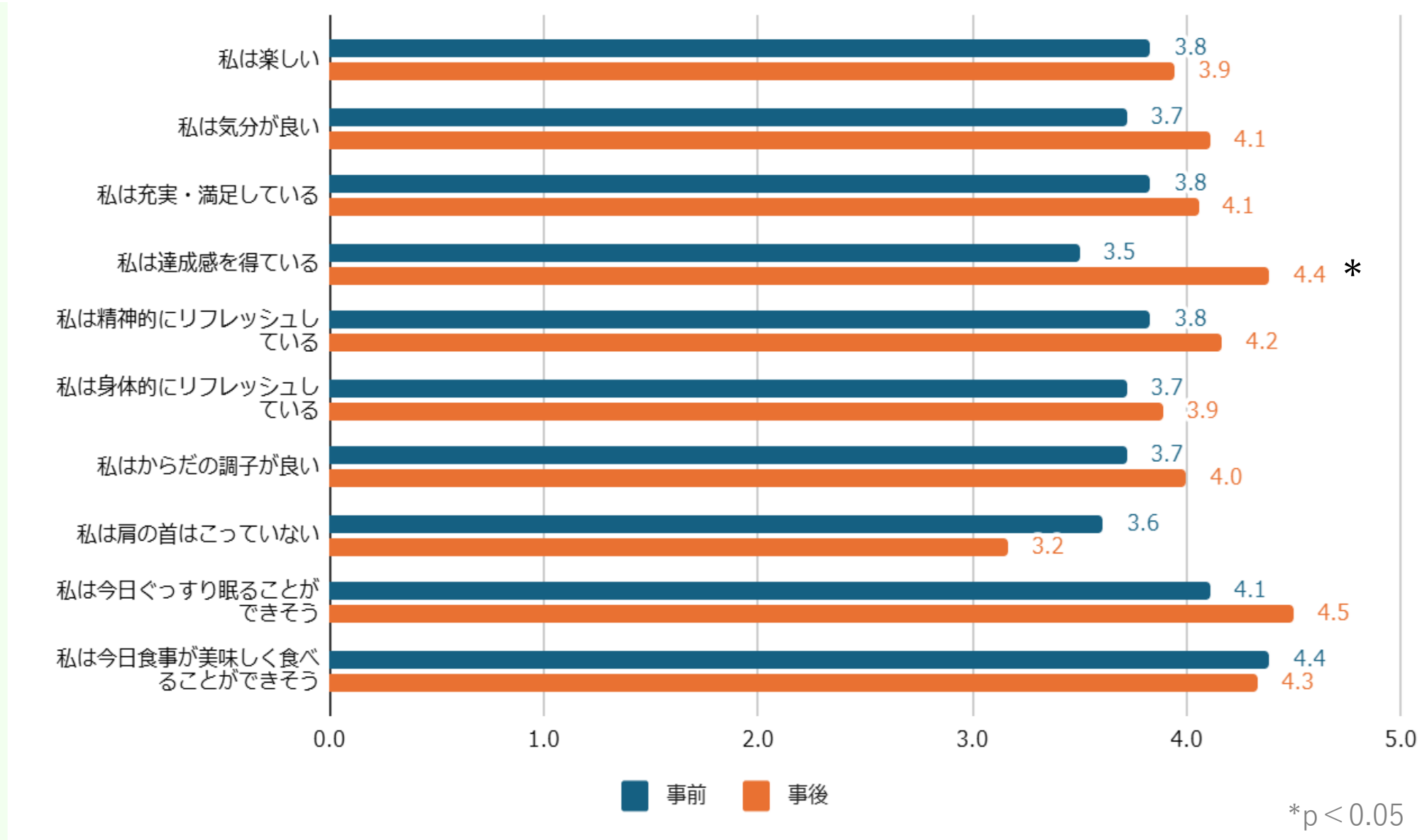
課題に対する成果

食文化を体験した参加者からは、「**地域の特産物**があって魅力的だなと思いました」「**自然豊か**で綺麗だった」といった感想を頂き、広域展開によるイベントの開催で**食で地域活性化に繋げ、村の魅力が伝える**事ができた。

参加者の声

感想として、「自然の中を走れて心身ともに**リフレッシュ**できた」「美しい自然や**歴史・文化**を感じることができた」「地域の特産物が沢山あり**魅力的**だった」「アップダウンのあるコースもあり**いい運動**にもなった」といった感想を頂いた。

レクリエーション効果



今後の取り組み

- 1.学内だけでなく**一般参加者**を含めたサイクリングイベントの開催と準備する。
- 2.サイクリングだけでなくバイクも含め更に広域に村を巡り魅力を伝える**ツーリングコース**の開発を行う。
- 3.村民とのコミュニケーションや認知度向上、地域活性化に繋がる事業化・ビジネス化の可能性を検討する。

取り組みに関する実施者の思い

- 1.南山城村の魅力を参加者の方々に感じてもらうことができた。
- 2.地元特産品や南山城村の自然、歴史や文化を活用することで、地域活性化やビジネスへの可能性を実感し、次年度の新しい目標を考えることができた。
- 3.事業化を見据えたイベント実施への意欲が高まった。